



藤島武二《天平の面影》1902年 石橋財団石橋美術館 重要文化財
展示期間：10月31日〔土〕～12月27日〔日〕

「神々の黄昏」

ウィーン世紀末の黄金の装飾画家グスタフ・クリムトの最高傑作《ヌーダ・ヴェリタス（真実の裸身）》。手鏡を差し出し観客を見つめ返す女神、挑発するヴィーナスの姿は、官能的で神秘的だ。

開館記念展 vol.2「神々の黄昏」では、クリムトの女神が、宇佐の天福寺に残る奈良～平安時代の木彫仏像、大分のヴィーナスと、時空を超えた空前絶後の出会いを果たす。

大分県北東部、宇佐・国東は、神秘の宝庫。古代宇佐神宮にはじまる八幡信仰、神仏習合の六郷満山の仏教文化を育んだ。大分の文化が、古来の祈りと「見えないものへの憧れ」を新しいヴィーナスに変え、現代の私たちへと甦らせる。

東西世紀末の女神を描いたアール・ヌーヴォー（モダンスタイル）絵画、大分の神々や祭りの土俗的造形、さらには現代美術に表明された「神秘思想」など、時空やジャンルを超越し、「大分の美、ヴィーナスへの憧れ」をドラマティックに演出する、全く新しいタイプの展覧会。



《奈良三彩壺》8世紀 九州国立博物館 重要文化財



《両界曼荼羅図》室町時代（14-15世紀）MIHO MUSEUM
展示期間：10月31日〔土〕～12月27日〔日〕

I 章 見えざるものへのまなざし

Chapter I – Looking at That Which Cannot Be Seen

II 章 物語を紡ぎ、再び生み出すこと 宇佐

Chapter II – Spinning Tales, Creating Tales Again - Usa

III 章 女神たちの黄昏

Chapter III – The Gold of the Goddesses

国内外の美術家の絵画、考古・民俗資料、彫刻、工芸作品など約130点
Approximately 130 works exhibited: paintings by Japanese and international artists, archaeological and folk materials, sculptures, craftworks and so on

【主な出品作家 Selected Exhibiting Artists】

●国内：藤島武二、寺松国太郎、青木繁、高山辰雄、小倉遊亀、鈴木芙蓉、円空、植田信隆、中上清、横尾龍彦 他
●Japanese artists: Fujishima Takeji, Teramatsu Kunitaro, Aoki Shigeru, Takayama Tatsuo, Ogura Yuki, Suzuki Fuyo, Enku, Ueda Nobutaka, Nakagami Kiyoshi, Yokoo Tatsuhiko, and more.

●海外：グスタフ・クリムト、マーク・ロスコ、ルドルフ・シュタイナー、ジョセフ・アルバート・ムーア、アド・ラインハート 他
●International artists: Gustav Klimt, Mark Rothko, Rudolf Steiner, Albert Joseph Moore, Ad Reinhardt, and more.



《天福寺 木造吉祥天立像》
奈良～平安時代前期 宇佐市黒区

関連イベント Events

国際シンポジウム

※要事前申し込み

「異文化と出会う
ークリムトの女神が宇佐八幡に来たら」

2015年11月1日〔日〕13:30～16:00
会場：大分県立美術館 2階 研修室

第一部：13:30～14:20（通訳あり）
「日本を愛した世紀末への誘い
ーウィーンのジャポニズム」
トーマス・トラビッチュ（オーストリア演劇博物館 館長）
ポール・アセンバウム（美術史家、Decorative Arts Consult 代表）
新見 隆（大分県立美術館 館長）

第二部：14:30～15:10
「聖地としての大分ー古代の信仰と神仏習合」
植島啓司（宗教人類学者）
飯沼賢司（別府大学 教授、「神々の黄昏」展実行委員会 委員長）
新見 隆（大分県立美術館 館長）

第三部：15:20～16:00（通訳あり）
「ヴィーナスの地大分から世界文化をみる」
パネラー：トーマス・トラビッチュ、ポール・アセンバウム、
植島啓司、飯沼賢司
司会：新見 隆

“Nuda Veritas (naked truth)” – the greatest masterpiece of the golden decorative painter of Fin-de-siècle Vienna, Gustav Klimt.
In OPAM's Opening Exhibition vol.2, “Dawn of Gods,” OPAM achieves a space-time traversing encounter that has never before been seen and will never be seen again: between Klimt's goddess and Oita's Venuses, the wooden Buddhist sculptures of Usa's Tempukuji Temple that were created between the Nara and Heian periods.
The mysterious treasure-trove of Usa and Kunisaki in the North-East of Oita Prefecture. The ancient Usa Shrine first cultivated the belief in Hachiman and the Rokugo-Manzan, which is a syncretism of Shinto with Buddhism. The culture of Oita changes prayers from time immemorial and “the yearning for that which cannot be seen” into new Venuses, resurrected for us as contemporary people.
Paintings in the Art Nouveau (modern style) depicting the goddesses of the end of the century of the East and West, molding in the local style of Oita's gods and festivals, and furthermore the “mystical thoughts” expressed by modern art – a totally new type of exhibition that goes beyond time and space and genre, and dramatically stages “Oita's beauty, a yearning for Venus”.

ワークショップ ※要事前申し込み

「てくてく参拝。ーわたしのお願い、はこんでね！」
2015年11月14日〔土〕13:30～16:30
会場：宇佐公民館、宇佐神宮（宇佐市）
お気に入りの人形と宇佐神宮を参拝！人形にお願いごとを運んでもらう

ワークショップ後、作品は県立美術館2階で
1月24日〔日〕まで展示

OPAMおでかけコンサート

「神々の黄昏」展記念 ※要事前申し込み

「西井葉子
ウィーンークロアチア世紀末ピアノコンサート」
2015年11月14日〔土〕
会場：富士屋 一也百ホールーはなやももー、
Otto e Sette Oita 鉄輪 柳屋内（別府市）
出演：西井葉子（ピアノ奏者）
対象：びびKOTOBUKI、TAKASAGO、UME会員限定
※当日入会可
料金：未定
コンサートと併せて、館長 新見 隆のトークと
お料理buffetあり

第17回大分県民芸術祭研修会事業

オペラレクチャー ※要事前申し込み

「さまよえるオランダ人と黄昏る神々」
2015年11月27日〔金〕19:00～20:30
会場：富士屋 一也百ホールーはなやももー（別府市）
2015年11月29日〔日〕11:00～12:30
会場：アルテジオ（由布市）
講師：清水慶彦（大分大学専任講師）
iichikoグランシアタで開催される歌劇「さまよえるオランダ人」と展覧会のタイトル「神々の黄昏」を作曲したワーグナーに迫る

OPAM ミュージアムで短歌

2015年12月12日〔土〕16:00～17:30
会場：大分県立美術館
出演：川野里子（歌人）
竹田市出身の歌人・川野里子による短歌の朗読とトークの会

HEart of Christmas協賛企画

ミュージアム・イン・シアター 「神々の黄昏」展記念
「西井葉子ピアノコンサートー
ウィーンとクロアチアの世紀末結ぶ」
2015年12月23日〔水・祝〕
会場：iichiko総合文化センター4階 音の泉ホール
出演：西井葉子（ピアノ奏者）
料金：一般2,000円、びびKOTOBUKI、TAKASAGO、
UME会員1,000円
コンサート後クリスマスパーティーを予定

OPAM ミュージック・イン・ミュージアム Vol.6

「神々の黄昏」展記念
「宮田まゆみ（笙）
～現代音楽作曲家 細川俊夫を奏でる～」
2016年1月9日〔土〕
会場：大分県立美術館 1階 アトリウム
出演：宮田まゆみ（笙奏者）

OPAM ミュージック・イン・ミュージアム Vol.7

「神々の黄昏」展記念
「小林道夫チェンバロ・リサイタル」
2016年1月10日〔日〕
会場：大分県立美術館 1階 アトリウム
出演：小林道夫（鍵盤楽器奏者）

イブニング・ギャラリー・トーク

会期中 第1・第3 金曜日 18:30～19:30
会場：大分県立美術館
展覧会場（1階 展示室A 入口スタート）※要展覧会観覧券
当館館長、学芸員による「神々の黄昏」展をめぐる
ギャラリートーク

※関連イベントの詳細、お申し込み等は、HP
http://www.opam.jp にてご確認、もしくは美術館にお
問い合わせください。内容等変更になる場合がございます。
予めご了承ください。